

122 グレイグ 『古風な婦人靴』

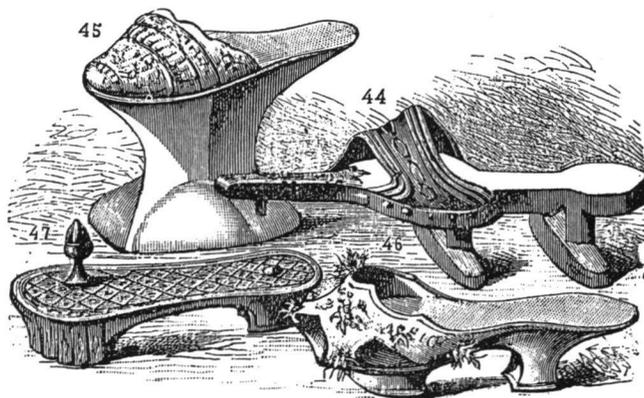
Greig, T. Watson. **Ladies' old-fashioned shoes.** Edinburgh, David Douglas, 1885. 11 plates (litho. hand-col.) 29.0 × 45.0 cm <383. 2-G>

Hiler p. 395 Colas 1312 Lipp. 1744

本書は、グレイグの収集した婦人靴11点を、横長(29×45cm)の色刷り石版にし、解説を加えてまとめた見事な図集である。細工、デザインのすばらしさを見せるためにほとんどが実物大に描かれていて、着用者もはっきりしている点で貴重である。グレイグは、当時スコットランド中央部のパース州の文芸・好古家協会の副会長をしており、グレイグ自身婦人靴の収集家でもあった。

時代は、16世紀末から19世紀初期にわたっており、これだけすばらしい靴の図集は、今後も期待することは難しいと思われる。各図版に付された解説には、その靴の所有者(3点は不明)とその時代、素材、デザインなどについて記されている。巻末の付録も有益である。その内容は、①リノクス卿 W.P. Lennox の「靴の今昔」という簡単な前文、②エディンバラ古代博物館所蔵の靴、③ R. ヒースによる「1883年のパリのクリュニー博物館での靴の展覧会について」、④イブリンの日記に記された「ウェストミンスター寺院の絵画に現われた靴について」の4項目である。

なお、本館には同著者の Ladies dress shoes of the nineteenth century with sixty-three illustrations. 1900 <383.2-G> がある。(内野)



44 15世紀のパトゥン

45・46 ヴェネチアのパトゥン

47 インドのパトゥン